

# 道の駅坂本の再整備に係る進捗について

令和7年3月7日  
経済文化交流部 観光振興課

## 1. 現在の状況

- 令和2年7月豪雨で被災した道の駅坂本を再建するために、令和6年6月に策定した「道の駅坂本再整備基本計画」を基に、再整備を行う施設等の基本・実施設計に令和6年9月から着手。
- 今回、基本設計が概ね完了したことから、令和9年7月の供用開始に向けて、引き続き施設等の実施設計に着手していく。

## 2. 再整備する施設等の概要

- 敷地面積 … 約10,000㎡
- 建築面積 … 約925㎡
- 構造形式 … 木造在来軸組工法及び鉄骨ラーメン工法
- 施設用途 … 物産館、レストラン、観光情報等の発信、川遊び交流拠点施設、多目的広場等
- 駐車台数 … 約80台  
(内訳) 八代市管理エリア：約48台  
(普通車約42台、身障者用約2台、EV車約2台、RV車約2台)  
熊本県管理エリア：約32台  
(普通車約25台、身障者用約2台、大型車約5台)

## 4. 事業費

区分	金額
基本・実施設計	24,968,900円
工事請負費	今後実施する実施設計において算出予定

## 3. 再整備する施設等の特徴

### ◎ 球磨川の景観を楽しめる施設

球磨川の景観を楽しみながら飲食等ができるよう、球磨川に沿った位置に建物を配置

### ◎ 球磨川名産の鮎や地元郷土料理を堪能できるレストラン

施設内のレストランでは、球磨川で育まれた鮎や坂本地域の食材を活かした郷土料理の提供に加え、鮎の焼き場を外から見て楽しめる機能を付加

### ◎ 豪雨災害の記憶の伝承

令和2年7月豪雨の記録資料などを屋内展示室に展示するとともに、被災した球磨川第一橋梁の一部を災害遺構として屋外に展示

### ◎ キャンプ泊などが楽しめる多目的広場

球磨川の恵まれた景観を眺めながら、テント泊や車中泊などによりアウトドア体験ができる多目的広場を敷地内に整備

### ◎ 災害時の防災機能の付与

災害時の避難場所として利用できるよう、炊き出し用に利用可能な「炊事棟」や「かまどベンチ」、非常用電源としても利用可能な「ソーラー式街路灯」を敷地内に整備

## 5. 今後のスケジュール（予定）

時期	内容
令和7年3月～9月	実施設計
令和7年4月～令和8年3月	道の駅坂本敷地かさ上げ工事【国】
令和7年9月	建設工事に係る補正予算案の議会への上程・予算措置
令和7年10月～令和8年3月	建設工事に係る業者選定
令和8年4月～令和9年6月	本体工事、外構工事、多目的広場工事
令和9年7月	供用開始